

指導セミナー Vol.47

指導者の祭典

4月27日(日)浜離宮朝日ホール小ホールにて、指導セミナーVol.47が開催されました。昨年に引き続き、プレゼンテーション&ポスターセッションの形で行われた第1講座から、充実のプレゼンテーション内容の一部をご紹介します。

取材・文 船越理恵



石嶺尚江先生
(吹田ステーション代表)

テクニク・クリニク
生徒を伸ばす
アイディアの引き出し・
ネタ帳のすすめ

通り一辺倒のスタイルではなく、1人ひとりの生徒に合った指導をしてあげたい。そんな思いから、レッスン中に遭遇したテクニクの課題とひらめいた改善策を、ノートに書きとめておくようになりました。いいアイディアをノウハウとして再利用できることが記録するメリットです。様々な生徒に応じた改善策が少しずつ蓄積され、



赤松林太郎先生



石嶺尚江先生

今ではどのような生徒にも対応できるようになりました。

レッスンが
さらに楽しくなる発表会



熊谷麻里先生
(川ロステーション代表)

楽しい発表会にすることが一番。

発表会が楽しければ自然と舞台に立ちたくなり、自ら練習するようになります。練習をすれば先生に褒められるし上手に弾けるようになるし良いこと尽くめですね。また発表会は指導者にとってもまたとな成長の機会です。選曲、演奏順、ソロ以外のプログラムなど考えなければならぬことが沢山ですが、全ては後の糧になります。

導入期から養いたい
アナリーゼ力



松田映子先生
(むさしの絆ステーション代表)

たとえば専門用語は使わないとか、視覚的な工夫を凝らすとか、「伝え方」「魅せ方」次第で、小さなお



塚原利理先生

子さんであってもその曲への理解を深めるアナリーゼができるのです。どんな曲かがわかれば、その曲への想像がふくらみ、最終的にはこう弾きたいという理想が芽生えてくるもの。主體的に音楽と関わる姿勢、ひいては音楽を楽しむ生きていく力を育てていくことができます。

1人だけの指導から、
仲間と学び合う指導へ！
Peer Learningの
取り組み



沢田菊江先生
(広島メイプルステーション代表)

指導方法や発表会準備、もしくは生徒募集方法についてなど、ピ

松田映子先生



アノの先生同士、共通の悩みや課題を抱えているケースというのが実は少なくありません。だとすればお互いの抱える問題を共有しあえる場があったらいいと思いませんか。そこで PeerLearning です。誰もが聞き手であると同時に話し手となる場では、様々な気づきやヒントが得られます。情報交換を

していく中で、より良いレッスンへの指針が生まれてくるでしょう。

読譜力をつけるレッスン



斉藤浩子先生
(豊洲CANALSテーション代表)

楽譜を読めないまま、なんとなく弾き、年齢を重ね、教材が進んでしまうと、ピアノはやがて苦痛の対象でしかなくなってしまいきます。だからこそ、読譜力が大事。特に大切な導入期は、弾く力と楽譜を読む力とを分けて考え指導しています。読譜力はレッスンの質も高めてくれます。レッスンまでに正しく譜面を読んで弾いてきてくれれば、レッスン時間中は音の出し方や表現に関する指導に集中できます。

はじめてのピアノコンクール先生と保護者のコンクール活用方法



塚原利理先生
(教育発達科学研究者)

コンクールに勝る勉強はありま



熊谷麻里先生

せん。日本には沢山のコンクールがありますよね。せっかくコンクール大国にいるのですから、この環境を大いに活用しましょう。コンクールへのチャレンジを成功させる秘訣は、とにかく参加のプロセスを楽しむこと。結果にこだわることとは重要ですが、うまくいかなかったとしても引きずらないことが大切です。コンクールはゴールではなく、成長のワンステップ！

見える成果を短時間で引き出すレッスン



赤松林太郎先生
(ピアニスト)

「見える成果」とは楽譜という平面的立体化。正しい読譜と高度な

テクニックで音楽に生命力を吹き込むのです。レッスンでは実際に多様な音色を弾いて聴かせます。音の印象を言葉で形容するのには限界がありますし、実際に弾いて聴かせて学んでもらうスタイルは演奏家の立場にあるからこそできること。生徒にとっても、音色を聴き比べると欲しい音がイメージしやすいようです。

eラーニングのご案内

ピティナ・eラーニングでは、今回ご紹介した第1講座のみでなく、第1・3講座が視聴可能です。是非チェックしてみてください。

<http://www.piano.or.jp/seminar/elearning/>

※石嶺尚江先生はご都合により、eラーニングの配信はございません。

料金		
一般	会員	学生
3,500円	3,000円	2,500円

